

..... 編集後記

◆ 3月を迎え、今月は桃の節句です。いかにも春らしい響きで、身も心も桃のように鮮やかに開くようなぬくもりの感じる春が待ち遠しい昨今です。さて、今月号は「ボーリングデータの整備・公開がもたらす新たな社会」と題した特集記事17編による構成となっています。いずれも読み応えのある興味深い記事が満載で、じっくりと読んでいただけます。

◆ データベースというものは便利なものです。昔でいえば、分厚い辞書・事典のようなものでしょう。それが今では小さなメモリーキットに収まっていますから、すごいものです。全てが網羅、整理され、必要なものが容易に探し出せ、何でも分かる優れものです。これからは様々な分野の情報についてデータベース化がますます進んでいくことでしょう。

◆ 今年の夏には参議院選挙が予定されています。選挙が近づくと巷で騒がれる三パンといわれる「地盤・看板・カバン」があり、ここでいう地盤は人間の作る組織ですが、地球が作る大きな地盤もあります。地球が作る地盤とは、私たちの立っている大地であり、地殻でもあります。選挙も私たちの生活に影響しますが、この地盤は私たちの生活・環境・資源・産業等すべてに直接関わる根本です。この地盤の情報をデータベース化して整備すると、私たちの生活に大きな利便性が提供されると考えられます。

◆ 2006年に発足した地質地盤情報協議会は、こうした地質地盤情報のデータベースに関して、公開と共有を進めてきました。本特集号では、これらの概要と活動、今後の課題等を紹介していただきました。

◆ 協議会会長である栗本氏は特集号の概要について、経産省の渡邊氏は政策遂行の観点から地質情報分野の知的基盤整備の重要性を述べて下さいまし

た。協議会副会長の岩松氏は、地質地盤情報の有用性と地学教育の問題点を指摘されており、幅広い知識と奥深い洞察力がにじみ出る現状解析とその打開策の提言には、読者を納得させるに十分な力があります。

◆ 国や地方自治体・企業等の活動概要では、国交省の国土地盤情報検索サイト「KuniJiban」(溝口氏)、農水省農業農村整備事業に伴う地質情報(中原氏)、地震対策におけるボーリング検層データ(菅野氏)、神奈川県が発信システム(吉村氏)、岡山県の地質地盤情報(木村・今田氏)、鳥根県のボーリングデータ公開システム「しまね地盤情報配信サービス」(王寺氏)について、それぞれ紹介していただきました。

◆ 続く甘露寺氏は、専門の立場から温泉に利用される大深度掘削データの収集における問題点を指摘し、亀和田・鋳持氏は公開地盤情報を活用したリスク管理等を行うビジネスモデルについての提案を紹介して下さいました。また、研究への活用例として、関東平野の水溶性天然ガス田調査(佐脇・金子氏)、ボーリング資料の地盤情報を活用した平野域の地質図幅の作成例(中島氏)、地盤増幅の地震動評価の概要と活用事例(藤川氏)、表層土壌の評価・リスク解析例(原氏ほか)、地すべり地のボーリング調査情報を地形・構造形成史の解明に活用した例(檜垣氏)を紹介していただきました。最後に、佐脇氏は協議会の事務局ならびに運営委員としての立場から、これまでの協議会の活動概要を紹介して下さいました。

◆ 冬季オリンピックでは選手の活躍で元氣と希望を戴きました。この勢いで、皆様からのバラエティに富んだ投稿文をお待ちしております。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第667号 2010年 3月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2010年3月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2010 Geological Survey of Japan